



第12号

平成23年3月1日発行

宮城県富谷高等学校 同窓会報

発行 宮城県富谷高等学校
同窓会
〒981-3341
宮城県黒川郡富谷町
成田二丁目1番地1
宮城県富谷高等学校内
TEL 022-351-5111
FAX 022-351-5112

『自分の言葉』



同窓会会長
本間 大介

みなさん、一年ぶりでございます。会長をやらせていただいている本間大介でございます。

昨年の会報からもう一年がたつですね。同窓会の皆様はこの一年いかがお過ごしだったでしょうか？

昨年の猛暑すごかったですね。体調を壊した方も少なくはなかったのではないのでしょうか？

人もそうなのですが、私は飲食業を営

富高同窓の

アイデンティティ



校長
佐藤 茂樹

同窓のみなさまには、平素より本校教育の振興に格別のご高配を賜り、誠にありがとうございます。さて、学校は三年後に成人式を迎えます。創立二〇周年の大きな節目です。卒業生のみなさまとともに、これまでの歴史をたどりながら、お祝いをしなければならぬと考えています。今、やっとその準備に入ったばかりであり、これから、みなさまにもご相談申し上げ、意義深い記念の年を迎えたい

んでいるので野菜などの食材の高騰もずいぶん悩まされました。レタスが一個600円なんて時期もありましたが、とても買う気にはなりませんよね。

さて、私たちの母校である富谷高校ももうすぐ20周年を迎えます。私たち同窓会も何らかの形で20周年を祝わせていただこうと思っています。何かいい案がある方ぜひ同窓会にご提案ください。

役員で相談する上での参考とさせていただきますので、ぜひ、よろしくお願いいたします。

富谷高校創立20周年が近いということとは、私たち一期生が富谷高校に入学してからそろそろ20年が経つということですね。今年33になります。

もういい大人と言われる年頃になりました。少しおじさんになってきた感じが、同窓会の会長をやらせていただいているのだと思っております。

さらにその三年後には、同窓会も成人式を迎えることになりましょうか。草創期の卒業生は、それこそ社会の中堅どころとして確かな地歩を築いておられることです。みなさまのさらなる活躍を心から願うとともに、後輩の良き道標となり、後輩を導いていただきますよう期待しています。

そしてそのころには、改めて母校を意識し、さまざまな思いを寄せてくれる、ある種うねりのようなものが多くの場合あるようですね。どうか、熱い思いを母校に降り注ぐ、そんな同窓会として今後発展続けてほしいと願っています。

「アイデンティティ」という語は、複雑で多岐にわたる意味がありますが、その多くを捨象しながら、「スクールアイデンティティ」という言葉について考えてみます。

本校で例えれば、「校章」「校訓」等に示される建学の精神や、「コース制」に基づく教育課程、あるいは、連綿と受け継がれてきました「伝統と校風」

るので人前ではしゃべる機会が多くなったせいか、最近「自分の言葉でしゃべる」ということをよく考えます。

みなさんは自分の言葉でしゃべっていますか？

どこかで聞いたような、誰かが言っていたような、借り物の言葉でしゃべってはいませんか？

言葉とは昔から言葉といわれるように魂が宿っていると思うのです。

しかし、ただ自分に都合がいいからそういうことにしてしまおうというよう

な、人がそう言っていたからみたいな、借り物の言葉でしゃべっている人は少なくないと思います。

私の思ういい例が「政治家なんて誰でも一緒ですよ」という言葉です。

果たして本当にそうなんですか？もしかしらたら近しい答えが出るかも

など、言で表せば他とは違う富高としての力強い個性、理念的なものと併せて具体性をも持った富高らしさということになるかと思えます。いわゆる「富高アイデンティティ」です。

ならば、既に卒業したみなさまにとっては、この「富高アイデンティティ」とはどんな意味を持つのでしょうか。この学舎で生活し勉強に励んだという事実。同期生や諸先生とたくさんのかかわり、取り組み多くの成果を生み出してきたという事実。そして、先輩から後輩へとつないできたバトンの承継。

草創期から現在に至る時の流れの中で、一人一人が確かにその一翼を担ってきたという紛れもない事実の記憶が、卒業生すべてにとっての「富高アイデンティティ」ということになるのかもしれない。

それは永遠に消えることがなく、一人一人の一部を形成します。振り返り立ち戻ること、時として支えとなるはず。また、ある種のステータス・シンボルとなるかもしれませんし、同窓生同士の連帯による力が大きな意味を持つかもしれません。

しれません。

でも、それは本当に自分で、見・聞き・調べ、いろんなことをしっかりと考慮し、決めた答え・言葉なのではないでしょうか？

しっかりとそれを自分の言葉でしゃべっている方もいるでしょう。

しかしながら、そうでない方もすごく多い気がします。誰かが言っていたから、テレビで言っていたから、それを言い訳に投票に行くくらいとくさを正当化して

いるだけではありませんか？

その中身のない言葉は、その魂のない言葉は、ゆつくりと日本という国の魂まで失わしてしまうかもしれませんよ。

そしてなによりあなた自身を中身の無い人間へと変えてしまいかもしれませんよ。

少しみなさんも「自分の言葉でしゃべろう」ということを考えてみてはいかがでしょうか？

せん。これらはすべて大事な要素です。

しかし、もう一つ大事なことはそれは決して過去を懐かしみ、現状に安住するためだけにあるのではないということです。かけがえのない事実の記憶の中に、今を見つめ、将来に向かって歩み、未来を創造するための豊かな泉が存在する。汲めども尽きぬ泉がきつと存在するのではないかということです。「富高アイデンティティ」は、その記憶の泉をもとに、未来に向かって一歩ずつ踏み出していく一つの原動力であってほしいと考えています。

学校は、同窓の方々の力添えを仰ぎながら、さらに充実した「富高アイデンティティ」の具現化に取り組んでまいります。同窓のみなさまも、「富高アイデンティティ」を一つの足場とし、それぞれの道をさらに邁進してほしいと願っております。

では、みなさまの益々のご発展を祈念し、また、今後とも後輩や母校に対する温かいまなざしを注いでいただきますようお願い申し上げます、挨拶いたします。

同窓会総会 および懇談会報告

昨年7月18日に第13回同窓会総会が、当校人文講義室で行われました。3年間ほど旧1

場所にしてやりたい！と決意をするくらい暑い暑さでした。

41内にあるエル・パーク仙台で行ったのですが、昨年は再び人文講義室での開催となりました。街中での開催でより多くの参加者を見込んで場所設定をしてきたのですが、また初心に帰る気持ちでの当校開催となりました。

折りしも昨夏は史上稀にみる猛暑に見舞われた夏であったのですが、7月の半ばにもちろんクーラーなど設置されていない人文講義室の暑さは、学校という建物から随分遠ざかってしまった1期生には大変キツイものがありました。

毎年総会の後にはアトラクションを設けています。今回は10回生の同窓会役員と教育実習生を中心に動いてもいいと思います。コミュニケーションゲームを皮切りに進んだアトラクションは初対面同士の人たちが打ち解けるためには最適なツールになったと思います。総会では顔見知りの人だけではなく高校在籍中には会うことのない学年の人たちと会うことになる場です。そこでゲームを通じて年齢関

係なくコミュニケーションを図ることができたのはとても面白かったです。校長先生やほかの先生方も混じられていたのも大変よかったと思います。

コミュニケーションゲームで少し打ち解けた後に恒例「？」のビンゴ大会となりました。今回は目玉景品にipodが含まれていたのですが結構皆さんの目がマジだったように感じます。結局実行委員の10回生が当ててしまったのはなんだか負の世界はシビアですね。

どんなに参加人数が少なくても同窓会が存続している限り総会は行わなくてはならない行事です。今後もいかに参加人数を増やしていくかは同窓会としての大きな課題だと思います。今回の総会に参加してくださった同窓生、校長先生はじめ諸先生方、暑い中わざわざお越しいただきました。実行委員として動いてくれた10回生の皆さんお疲れ様でした。これからも是非総会に参加してくださいね。

1回生 澤口 幸子



同窓会総会の様子



懇談会の様子



コミュニケーションゲームの様子

富谷高等学校同窓会役員（平成22・23年度）

会 長	本 間 大 介	1回生				
副会長	白 鳥 美 和	2回生	後 藤 信 稔	7回生		
監 事	澤 口 幸 子	1回生	菅 原 千 洋	3回生		
会 計	高 山 綾 子	1回生				
幹 事	菅 野 準	1回生	鈴 木 洋 平	1回生		
	村 上 琢 也	4回生	品 川 健 志	5回生	早 坂 友 里	5回生
	石 川 卓	8回生	菅 谷 憲 太	8回生	山 田 由 香	8回生
	大 西 智 樹	9回生	佐 藤 純 子	9回生	若 生 遙	9回生
	阿 部 大 地	10回生	尾 形 祥 平	10回生	星 瑞 貴	10回生
	大 町 祐 太	11回生	佐 藤 成 美	11回生	森 田 麻 絹	11回生
	及 川 拓 也	12回生	熊 谷 香 里	12回生	八 巻 睦 子	12回生
	和 田 詩 織	12回生	谷 口 雄 紀	13回生	千 葉 拓 也	13回生
	若 生 あづさ	13回生	中 川 梓	14回生	若 生 圭 佑	14回生
	小 鹿 哲	14回生	田 中 千胡与	14回生	吉 川 正 洋	14回生
顧 問	米 竹 克 郎	初代校長	伊 藤 紀 彦	二代目	山 田 守	三代目
	戸 村 正 昭	四代目	佐々城 洋	五代目	井上（旧：菊地）智子	初代会長
参 与	佐 藤 茂 樹	学校長				
事務局	総務部長 花 田 泰 明		総 務 部 橘 川 志 津		総 務 部 後 藤 浩 之	
	総 務 部 池 口 良 太					

富谷高校15回生同窓会 クラス委員名簿

	氏 名	備考
1組	今 泉 祐 貴	
	高 橋 未 来	
2組	伊 藤 大 貴	
	遠 藤 有 紗	
3組	金 原 由 衣	
	成 田 亜 優	幹事
4組	細 川 翔 貴	
	伊 藤 里 奈	幹事
5組	佐 藤 健太郎	
	下 山 美 里	
6組	菅 原 あかね	
	渡 辺 愛	幹事
7組	岩 渕 貴 人	幹事
	金 森 翔 平	

平成21年度事業報告

開催日	事業名	内容等
H21. 6. 21	第1回三役会	今年度事業について
6. 22	会計監査	
7. 5	第1回役員会	同窓会総会開催について
8. 9	同窓会総会準備・同窓会報作成打ち合わせ	
8. 9	第12回同窓会総会	三越・エルパーク仙台
11. 15	第2回三役会	次年度事業について
H22. 2. 26	第2回役員会	
2. 26	同窓会入会式	
3. 1	第14回卒業式	
	同窓会報第11号発行	

平成22年度事業計画

開催日	事業名	内容等
H22. 5. 22	第1回三役会	今年度事業について
6. 11	会計監査	
7. 3	第1回役員会	同窓会総会について
7. 18	第13回同窓会総会	本校人文講義室
11月中旬	第2回三役会	次年度事業について
H23. 2. 28	第2回役員会	
2. 28	同窓会入会式	
3. 1	第15回卒業式	
	同窓会報第12号発行	

平成21年度宮城県富谷高等学校同窓会決算報告書

1 収入の部 (単位：円)

項目	予算額	決算額	残 額	摘 要
1 会 費	1,476,000	1,490,400	14,400	@900×1,656件
2 繰越金	79,570	79,570	0	前年度より繰越
3 雑収入	0	9,000	900	@900×1件
合 計	1,555,570	1,570,870	15,300	

2 支出の部

項目	予算額	決算額	残 額	摘 要
1 運営費	135,000	87,660	47,340	
(1)会議費	40,000	17,620	22,380	三役会食事代 役員会食事飲物代
(2)事務費	60,000	57,040	2,960	データ管理料 役員会案内はがき代
(3)需用費	5,000	0	5,000	
(4)旅 費	30,000	13,000	17,000	役員会出席旅費
2 事業費	1,410,000	987,546	422,454	
(1)総会費	70,000	60,057	9,943	総会案内はがき代 総会会場使用料等
(2)広報活動費	850,000	519,690	330,310	HP管理運営費用等 会報印刷
(3)遠征費補助	150,000	100,000	50,000	遠征費補助(部活動後援会)
(4)記念品費	110,000	107,799	2,201	卒業記念品代
(5)慶弔費	30,000	0	30,000	
(6)繰出金	200,000	200,000	0	積立金へ繰入
3 予備費	10,570	0	10,570	
合 計	1,555,570	1,075,206	480,364	

3 次年度繰越金

総収入額	総支出額	差引残額	摘 要
1,570,870	1,075,206	495,664	

平成22年度宮城県富谷高等学校同窓会予算書

収入の部 (単位：円)

項目	予算額	前年度予算額	比較増減	摘 要
1 会 費	1,476,000	1,476,000	0	@1,800×820名
2 繰越金	495,664	79,570	416,094	
3 雑収入	0	0	0	
合 計	1,971,664	1,555,570	416,094	

支出の部

項目	予算額	前年度予算額	比較増減	摘 要
1 運営費	145,000	135,000	10,000	
(1)会議費	40,000	40,000	0	役員会会議費
(2)事務費	70,000	60,000	10,000	役員会案内葉書代・会員データ管理料
(3)需用費	5,000	5,000	0	
(4)旅 費	30,000	30,000	0	役員会旅費
2 事業費	1,820,000	1,410,000	410,000	
(1)総会費	80,000	70,000	10,000	総会案内用葉書代等
(2)広報活動費	850,000	850,000	0	HP管理運営費用等 会報発行
(3)遠征費補助	150,000	150,000	0	部活遠征補助
(4)記念品費	110,000	110,000	0	卒業記念品代
(5)慶弔費	30,000	30,000	0	
(6)繰出金	600,000	200,000	400,000	積立金
3 予備費	6,664	10,570	△3,906	
合 計	1,971,664	1,555,570	416,094	

5 積立金

前年度繰越金	今年度繰入金	定期預金利子	積立金累計	摘 要
11,757,120	200,000	23,830	11,980,950	

監 査 報 告

通帳及び関係書類を監査したところ、いずれも適正に処理されている事を報告します。

平成22年6月11日

監 査 長 湯口 幸子
監 査 員 菅原 千洋



<http://www.tomiya-hs.jp/>にレッツアクセス!

富谷高等学校同窓会ホームページをご存知ですか？

同窓生の皆さん、同窓会のホームページをご覧になったことはありますか？ ホームページを立ち上げて三年目になります。まだまだ、更新回数も閲覧者数も少ない状況ではありますが、見たことのない人はぜひ一度見てみてください。ホームページから同窓会に問い合わせることができ、住所変更もできます。また、同期会などのお知らせを載せたいという場合は同窓会事務局までご連絡ください。同窓生が有効活用できるようなホームページを目指し、今後は更新していきたいと思っています。また「こういうコンテンツがあればいいのになどのご意見があればご連絡ください。

クラブ活動報告

運動部

■硬式野球部

・春季高校野球宮城県大会
北部地区予選 1回戦
富谷2ー10大崎中央
敗者復活 1回戦
富谷0ー12古川工業

■ソフトボール部

・高校総体
仙塩地区予選 リーグ戦
富谷2ー3泉館山
富谷0ー7宮城第一
順位決定戦
富谷9ー1宮城学院
・高校総体 県大会
富谷19ー18仙台東
富谷0ー11石巻市女



■サッカー部

・高校総体 仙塩地区予選
富谷1ー2仙台南
富谷1ー0多賀城
富谷0ー3仙台三

■バレーボール部(男子)

・県M2リーグ
富谷4ー1泉
・県総体
1回戦 富谷0ー2白石
1回戦敗退

■バレーボール部(女子)

・県総体
2回戦 富谷2ー0登米
3回戦 富谷2ー0仙台南
4回戦 富谷0ー2ウルスラ



■バスケットボール部(男子)

・仙塩地区予選 予選リーグ
富谷75ー89多賀城
富谷66ー111利府
2敗で予選敗退

■バスケットボール部(女子)

・仙塩地区予選 予選リーグ
富谷49ー115宮城第一
富谷75ー66宮城学院
1勝1敗でリーグ戦2位通過
県大会出場決定戦
富谷99ー76生文大
県大会出場決定

■陸上競技部

・県総体
1回戦 富谷70ー53古川
2回戦 富谷31ー144聖和学園

・平成22年度 仙塩地区
大会陸上競技大会結果

男子 県大会出場者

100m 川口 逸人

100m 渡邊 雄介

200m 渡辺 雄介

200m 大桐 昇平

200m 白石 寛樹

200m 黒田 啓資

400m 泉 俊吾

400m 高世 翔太

800m 2分02秒25

800m 2分05秒07

800m 黒田 啓資

800m 本多 弘樹

800m 16分56秒65

800m 川口 逸人

800m 14秒94

800m 高橋 大地

800m 16秒69

800m 畠山 勇大

800m 64秒22

800m 尾形 直希

800m 57秒18

800m 堀籠 一紀

800m 58秒06

3000m 高世 翔太

走幅跳び 10分03秒48

走幅跳び 石原 憲人

棒高跳び 6m05

棒高跳び 小室 翔太

八種競技 3m70

八種競技 櫻井 陽介

八種競技 渡辺 啓祐

女子 県大会出場者

100m 佐藤 実梨

100m 20秒56

100m 菅原 瑞稀

100m 19秒31

走幅跳び 菅原 真衣

走幅跳び 4m45

円盤投げ 佐藤 愛衣

円盤投げ 27m87

・平成22年度 県総体

陸上競技大会結果

100m 川口 逸人

11秒03 第1位

(東北大会出場)

110m 川口 逸人

15秒42 第1位

(東北大会出場)

110m 尾形 直希

16秒62 第7位

400m 堀籠 一紀

58秒50 第8位

3000m 高世 翔太

10分08秒66 第9位

400m 渡辺雄介・堀籠一紀・尾形直希・川口逸人

42秒56 第2位

(東北大会出場)

円盤投げ 佐藤 愛衣

29m15 第7位

・平成22年度 宮城県

春季陸上競技大会結果

110m 川口 逸人

14秒96 第2位

棒高跳び 小室 翔太

3m70 第5位

400m 渡辺・堀籠・尾形・川口

43秒67 第6位

・平成22年度

東北陸上選手権大会

100m 川口 逸人

10秒82 第1位

(インターハイ出場)

110m 川口 逸人

15秒06 第1位

(インターハイ出場)

400m 渡辺・堀籠・尾形・川口

42秒38 準決勝脱落

■剣道部

・地区大会

【男子 団体戦】

富谷0ー5仙台育英

富谷4ー1仙台青陵

予選2位通過

富谷2ー2仙台二

(代表決定戦で敗退)

・県総体剣道競技

【男子 団体戦】

富谷2ー2岩ヶ崎

富谷4ー1亘理

(岩ヶ崎とのポイント差

により予選敗退)

■弓道部

・高校総体
男子団体戦 準々決勝進出
男子個人戦 準決勝進出
女子団体戦 決勝進出
第4位・射道優秀賞
女子個人戦
久保山玲奈 (3年) 5位
射道最優秀賞
三浦逸実 (3年) 6位



■バドミントン部 (女子)

・高校総体 学校対抗戦
富谷0-3 東北
1回戦敗退

■卓球部 (男子)

・高校総体 仙塩地区予選
学校対抗戦 1回戦
対利府 3-0
敗者復活1回戦
対東北工大 3-0

団体戦
1回戦
富谷3-0 仙台高専名取
2回戦
富谷2-1 古川工業
3回戦
富谷1-2 石巻工業

■ソフトテニス部 (男子)

団体戦

1回戦

富谷3-0 仙台高専名取

2回戦

富谷2-1 古川工業

3回戦

富谷1-2 石巻工業

■ソフトテニス部 (女子)

・高校総体 仙塩地区予選会
堀籠奈々・池田未奈
(第9位通過で県大会へ)
足立早織・本林沙希
(第33位通過で県大会へ)

・高校総体
団体戦・2回戦
富谷1-2 岩ヶ崎
個人戦・1回戦
足立早織・本林沙希
4-2 白石高校
2回戦
足立早織・本林沙希
0-4 仙台二華高校
2回戦
堀籠奈々・池田未奈
3-4 東北生文大高

■バドミントン部 (男子)

・高校総体 学校対抗戦
富谷1-3 東北生文大高
1回戦敗退



■テニス部 (男子)

・高校総体
団体戦 2回戦
富谷2-0 利府
3回戦
富谷0-2 気仙沼向洋

富谷0-2 気仙沼向洋



■テニス部 (女子)

・高校総体
団体戦 1回戦
富谷0-2 泉館山
個人戦 シングルス
遠藤有紗4R進出
ダブルス
降幡・千葉組4R進出

富谷0-2 泉館山

富谷0-2 泉館山

富谷0-2 泉館山

富谷0-2 泉館山

富谷0-2 泉館山

富谷0-2 泉館山

富谷0-2 泉館山

富谷0-2 泉館山

富谷0-2 泉館山

富谷0-2 泉館山

富谷0-2 泉館山

富谷0-2 泉館山

富谷0-2 泉館山

富谷0-2 泉館山

富谷0-2 泉館山

富谷0-2 泉館山

富谷0-2 泉館山

富谷0-2 泉館山



■ハンドボール部 (男子)

2回戦

富谷38-19 仙台

3回戦

富谷46-22 東北工大

準決勝

富谷32-26 古川工業

決勝

富谷26-27 聖和学園 (準優勝)

・東北高校選手権大会

1回戦

富谷29-13 青森東

2回戦

富谷30-29 湯沢

準決勝

富谷21-34 盛岡一 (第3位)

・県春季大会

2回戦

富谷47-4 古川

3回戦

富谷39-6 仙台商業

準決勝

富谷34-23 古川工業

決勝

富谷29-20 仙台一 (優勝)

・ハンドボール部 (女子)

・高校総体

1回戦

富谷17-11 宮城一

2回戦

富谷17-33 古川学園

・県春季大会

1回戦

富谷17-20 佐沼

富谷17-20 佐沼

富谷17-20 佐沼

富谷17-20 佐沼

富谷17-20 佐沼



■水泳競技

笹川泰裕

男子100M自由形 優勝

54秒06 (東北大会出場)

男子50M自由形 第2位

24秒57 (東北大会出場)

菅原七海

女子100Mバタフライ

1分7秒78 (東北大会出場) 第8位

文化部

■美術部

・平成22年度愛鳥週間

ポスター原画コンクール

優良賞 前山 千紘 (3年)

佳作 鎌田 幹 (2年)

佳作 千葉 柚香 (2年)

佳作 千葉 柚香 (2年)

佳作 千葉 柚香 (2年)

今年度活躍した部活動紹介

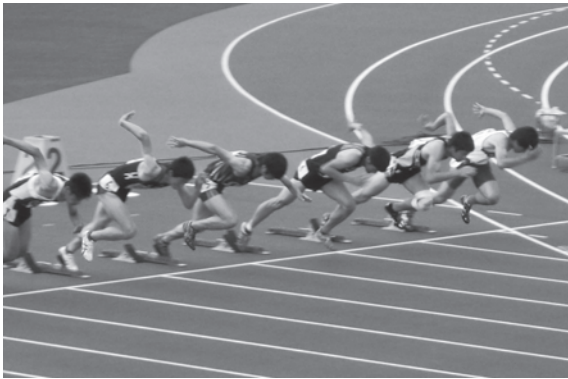
陸上競技

三年 川口 逸人

私は去年の八月に沖縄インターハイに出場してきました。沖縄は初めてだったので見るもの全てが異国的で興味深く、これから全国大会があることを忘れてしまうような雰囲気でした。しかし、このような環境が緊張をほぐしてくれたため、リラックスした状態で試合に挑むことができました。

中学一年生から陸上を始め、私は、もともと走り幅跳びを専門としていたのですが、市大会の予選すら通過できない選手だったので種目を一一〇mハードルに変えたところ、県大会にも出場できるようになりました。中学三年生の県中総体では全国標準記録にあと百分の一秒届かずとても悔しい思いをしたので、高校ではなんとしても全国大会へ出場したいという気持ちが強くなりました。

そのため、入学してからの目標はインターハイに出場することとし、大事な基礎的な練習を毎日地道に取り組みました。また、私は大学でも陸上競技を続けたいと考えていたので技術的な練習よりも基礎的な能力



の向上により力を注ぎました。具体的には、二二〇mハードルにおいては技術力とスプリント力の両方を求められますが、私はスプリント力に重点を置き、二二〇mの走力を上げる練習に取り組みました。その結果、高校三年目に二二〇mと一一〇mハードルの二種目で夢の舞台であったインターハイへの出場権を獲得することができました。

インターハイでは最初に二二〇mが行われ、三日後に二二〇mハードルという日程でした。二二〇mにおいてはライバル達の走りに圧倒されてしまい、準

決勝で敗退。振り返ると自己の能力で負けたのではなくメンタル面で負けた試合でした。本職である二二〇mハードルでは絶対に負けられないという強い気持ちを持ち、試合に臨みました。最初の一組目で、いきなり今季高校最高記録が出るなど全体的にもかなりハイレベルのレースとなりましたが、それに動じず冷静でいることができたのは二二〇mでの経験があったからです。予選、準決勝と自己ベストを更新し続け、ついに決勝まで進むことができました。四位に入賞することができました。この目標以上の結果を得ることができたのは、目標を持ち続け一生懸命練習した結果でもあると思いますが、なによりご指導してくださった先生方、そして両親やチームメイトに恵まれみんなが応援し、協力してくれた結果だと思っています。

陸上競技を通じて私はとても貴重な経験をさせてもらい、そこから多くのことを学びました。特に沖縄インターハイを経験したことは人生において大きな財産となりました。そして、インターハイで「勝ち」を得ましたが、その後の大会では「負け」を味わいました。今になつて振り返ってみると「負け」を経験した方が得るものが多く、自分のためにもプラスになつていました。負けることによって自らを振り返り、何が足

りなかったのか、これから何をするべきなのかを考えさせられました。負けを経験し、そしてそこから努力を重ねることによつて人間的にも成長できるでしょう。大学では発見した弱点を克服し、二二〇mハードルで十三秒台を出すことと世界を目標に努力したいと考えています。

水泳競技

三年 笹川 泰裕

私にとってインターハイは、高校生活での大きな目標の一つであった。昨年は、力不足で出場することができなかったことから、より明確な目標になった。

インターハイは、東北大会で上位に入るか、標準タイムを切ることで出場することができると。私は、自由形の五〇mと、一〇〇mを専門的にに行っている。東北大会では一〇〇mで失敗してしまつた。五〇mは一〇〇mの失敗があつたことから、その失敗を生かし、集中することでインターハイへの出場を決めることができた。

インターハイに出場するにあたり、私は宮城県代表であり富谷高校の生徒であることを自覚し臨むことが必要である



と思った。今年のインターハイは、沖縄で開催された。沖縄のプールは屋外にあり、気温が高いことから水温も非常に高く、宮城などに比べると環境はあまり良くない状況であった。私の種目は、二日目であった。一日目の種目では環境のせいであるか、例年に比べ全国の選手達の結果もあまり良くなかった。私は、本番で自分の未熟さが出て、環境に対応しきれなかったことなどもあり集中して臨むことができなかった。このようなこともあり、良い結果を残すことはできなかった。

私はインターハイに出場して最後には良い結果を残す事ができなかったが、今年の目標であったインターハイに出場できたことは良かったと思つている。高校の生活では水泳を通して失敗や挫折などを経験したことで、精神面や肉体的に成長することができたのではないかと思っている。今後は、このような経験を日常生活やいろんな場面で、生かせたら良いのではないかと考えている。

同窓生だよ



富谷高校吹奏楽部の定期演奏会は、二〇一〇年で第一五回を迎え、一つの区切りの年を迎えました。七回生の私が初めて出演した定期演奏会は、まだ第五回で、それから一〇年経ったわけです。

高校を卒業後も楽器を続けていたこともあり、部活にはずっと関わらせていただき、

そして第一五回という記念の年に、是非OBOGと現役生での合同演奏をやりたい、という思いを顧問の山本先生や現役生の皆さんに伝えたところ、快く了承していただきまして、夢のような合同演奏が実現することになりました。

正直、最初は何人集まるか不安な部分がありました。もしかしたらほとんど集まらないのではないかと。

しかし、いざ蓋を開けてみるとそれは杞憂におわりました。およそ三〇人もOBOGが、私と同じように、「またあのメンバーで音楽がしたい」という思いを持っていてくれたのです。

今回、私たちが現役時代の顧問であった佐藤雅浩先生に指揮をお願いしたのですが、部活は生徒が主体的にやるものだ、という考えを持っていらっしゃる先生でしたので「指揮はお前がやるべきだ」とのお言葉を頂きまして、私が指揮の大役を務めることになりました。

指揮者として合同演奏に臨

むことになり、私は一つのテーマを掲げました。
このメンバーで演奏するとは、きっと一生ない。だからこそ、一瞬一瞬を、一音一音を大切にしよう。そういう思いを、私は「一期一会」という言葉に込めて、一致団結を呼びかけました。

演奏時間は約一五分ほどでしたが、私にとっては一生忘れられない一五分間になりました。
指揮台で、三〇人のOBOG、そして三〇人の現役生の顔を見ながら、「一期一会」の音を奏でた一五分間。

五年後、富谷高校吹奏楽部定期演奏会は第二〇回になります。
その時、より多くのOBOGが集まって、また夢のような時間が過ごせたら、と思っています。

七回生 高橋洗棋



そして演奏会当日。

私たちが演奏したのは、大河ドラマ『篤姫』のテーマと、吹奏楽の世界では最も人気のある楽曲の一つである『アルヴァマー序曲』の二曲です。



22年度職員写真



職員転入出紹介

転出された先生方(教科・転出先)

亀井嘉昭 教頭先生

(石巻市立女子商業高校)

半谷勝章 先生

(仙台二華高校)

伊東俊英 先生

(泉松陵高校)

鈴木正樹 先生

(仙台第二高校)

佐々佳紀 主事

(山元町立山下小)

齊藤 薫 先生

(代替養護教諭・)

加美町立東小野田小学校

阿部 司 先生

(大崎市立三本木中学校)

品川健司 先生

(千葉県立印旛明誠高校)

転入された先生方(教科・前任校)

青山 純 教頭先生

(数学・白石(定)高校)

佐藤昌宏 先生

(化学・多賀城高校)

根本光泰 先生

(数学・泉松陵高校)

池口良太 先生

(物理・七北田中学校)

佐藤 綾 主事

(仙台教育事務所)

荒川真亜紗 先生

(代替養護教諭・宮城学院女子大)

梶原祐市 先生

(情報・宮城広瀬高校)

野月雄太 先生

(数学)

平成二十三年度

同窓会総会の

ご案内

今年の同窓会総会は、昨年と同様、富谷高校の人文講義室で開催いたします。日時は平成23年9月11日(日)を予定しております。

総会の内容は、前年度の活動報告、決算報告、今年度の活動予定、予算案についての審議などです。総会後は、例年通り懇親会を行う予定です。総会・懇親会を通して、富谷高校の縦のつながりを深めていきましよう。また、卒業式以降富谷高校を訪れていない人たちが多いと思うので、これを機会に懐かしき母校に足を運んでみてはいかがでしょうか？

総会・懇親会について気になること・分からないことがあれば富谷高校同窓会事務局までお問い合わせください。

編集後記

みなさんはじめまして、今回の同窓会報の編集担当の池口です。今年度富谷高校に赴任してきましたが、富谷高校の広さ・きれいに驚いています。高校内に選択教室やオブジェがたくさんあり、このような高校で3年間を過ごしたみなさんがうらやましい限りです。是非、同窓会を通して富谷高校が発展して欲しいです。

最後になりましたが、同窓会報を作成するにあたって、原稿を書いてくださった本間会長・佐藤校長先生をはじめとする皆さんに感謝いたします。ありがとうございました。



池口良太

平成二十三年度 同窓会総会

日時 平成23年9月11日(日)

受付時間 13時30分～

総会開始時間 14時～

会場 富谷高校第2会議室

連絡・問い合わせ先(富谷高校)

電話番号 022(351)5111

FAX 022(351)5112